

セミナーで知見を深め、先進地域の
視察を通じて実践につなげるプロジェクト

見て、聞いて、
地域の魅力を
再発見！

令和8年度
都市農山漁村
交流促進
セミナー

参加無料

定員
30名

事業の目的

山口県では、農山漁村と都市との交流拡大に向け、従来の一時的な滞在型から、再訪問・長期滞在へとつながるよう、滞在型交流に係る受入体制の再構築を行い、地方への人の流れの拡大や中山間地域の活性化を図っています。この度、都市農山漁村交流に係る交流体験プログラムや宿泊施設の運営に携わる関係者をはじめ、市町担当者等を対象として、都市農山漁村交流の拡大に向けた機運醸成や新たな旅行需要への対応、地域ぐるみの取組促進等を目的に、都市農山漁村交流促進セミナー・ワークショップ及び先進地の視察を実施します。

第1回目

11/9月

第2回目

12/17木

先進地視察

2027 1/21木

セミナー会場

小郡地域交流センター2階 大ホール
(山口市小郡下郷609番地1)

対象

山口県内在住または在勤(在学)の方

こんな方におすすめ！

- 交流体験プログラムや宿泊施設の運営に携わる関係者・市町担当者の方
- 都市農山漁村交流など、農山漁村地域の活性化に興味・関心のある方

WEBまたはFAXにてお申込みください

イデアパートナーズ株式会社 (担当：中山)

TEL:092-739-6080 FAX:092-739-6081

営業時間 10:00~17:00 (土日祝休み) 主催：山口県総合企画部中山間・地域振興課

※会場から遠い方は、オンラインでの参加も可能 ※各回ごとに参加可能

お申込みは
こちらから



11/9(月) 14:00～16:30 (開場・受付 13:30～)

会場から遠い方は、オンラインでの参加も可

テーマ：地域の宝を活かした元気な地域づくり ～人口減少時代だからこそ見つめ直したい地域の魅力～

人口減少が進む中で地域が持続していくためには、新たな資源を探すのではなく、地域にある人・暮らし・文化・風景などの価値を見つめ直し、地域の強みとして活かしていく視点が重要です。本セミナーでは、地域の将来を主体的に考える手法や、地域の日常を交流や仕事につなげる実践事例を通じて、自地域ならではの価値と可能性を再発見します。

第1部
(講演)人口減少時代における
持続可能な地域づくり

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長

藤山 浩

1959年、島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士（マネジメント）。島根県中山間地域研究センター等を経て2017年より現職。「みんなで作る中国山地百年会議会長」。総務省地域力創造アドバイザー他、国・県委員多数。著書に「田園回帰1%戦略」、「小さな拠点をつくる」、「循環型経済をつくる」、「日本はどこで間違えたのか」など。

第3部 (ワークショップ)

地域の魅力を交流価値に変換しよう

第2部
(講演)地域の宝を交流資源へ
転換する手法

うきはの宝株式会社 代表取締役

大熊 充

「ばあちゃんビジネス」ばあちゃんたちが働くことで「生きがい」と「収入」を得る、75歳以上のばあちゃんたちが働ける会社「うきはの宝株式会社」を2019年10月に設立。ばあちゃんたちの働く仕事と働く場創りを広めている。ばあちゃんたちの得意と特性を活かして「食」と「料理」で商品・サービス化して通販で販売。ヒット商品に万能調味料、密な干し芋など。地域食堂「ばあちゃん喫茶」を全国にFC展開中。

参加者それぞれの地域の魅力を見つめ直し、都市部の人から見た価値や、交流の可能性を整理します。



12/17(木) 14:00～16:30 (開場・受付 13:30～)

会場から遠い方は、オンラインでの参加も可

テーマ：選ばれる地域になるための滞在価値づくり ～新たな旅行需要に応える地域資源の活かし方～

旅行者ニーズが多様化する中で、地域が選ばれるためには、単なる観光地づくりではなく、その地域ならではの滞在価値を提供することが重要です。本セミナーでは、体験価値を重視する旅行市場の変化やターゲット設定の考え方を学ぶとともに、雪国観光圏の実践事例を通じて、地域資源を活かした高付加価値な滞在型観光や、地域全体で交流を生み出す観光地域づくりについて学びます。

第1部
(講演)データで読み解く旅行市場の
変化と地域観光の可能性

株式会社インアウト・ツーリズム研究所 代表

帆足 千恵

法務省勤務を経て、福岡のタウン情報誌や旅行情報誌の編集・取材に携わり、世界30か国・60エリア以上を取材。2001年からインバウンド事業に参画し、福岡観光コンベンションビューローなどを経て2012年に独立、2019年に株式会社インアウト・ツーリズム研究所を設立。現在は「ツーウェイ・ツーリズム」を掲げ、自治体や観光事業者を対象に、地域活性化を目的とする観光戦略の立案から商品造成、プロモーション、受入環境整備、人材育成まで幅広く支援している。

第3部 (ワークショップ)

新たな旅行需要に応える滞在価値を考えよう

第2部
(講演)雪国リトリートに学ぶ
滞在型観光の実践

一般社団法人雪国観光圏 代表理事

井口 智裕

家業の旅館を継ぎ、2005年に「越後湯澤HATAGO井仙」をリニューアル。2008年には新潟・群馬・長野の3県7市町村による「雪国観光圏」の立ち上げを主導し、雪国文化を活かした広域観光地域づくりを推進。2013年に一般社団法人雪国観光圏を設立し、代表理事に就任した。観光品質基準の導入や人材育成、地域ブランドづくりに取り組むほか、「ryugon」の開業など、宿泊・食・文化を一体化した地域経営を実践。観光庁の有識者会議委員等も歴任し、2021年には観光庁長官表彰を受賞。

旅行者ニーズの変化や滞在価値づくりの講演を踏まえ、ターゲットに響く滞在プログラムを具体化し、再訪につながる仕掛けまで考えます。



1/21(木) 8:30～18:30 (日帰り)

視察への参加は、セミナー・ワークショップに
参加された方が優先となります。

テーマ：地域資源を「滞在価値」へ転換する実践を学ぶ

「地域資源の価値化」や「滞在価値の創出」を実践する先進地域を訪ね、地域の風景や暮らし、食などの資源をどのように宿泊・体験・交流へとつなげているのかを学びます。また、地域事業者が連携した受入体制や、再訪につながる交流づくりの実践について理解を深め、自地域での取組につなげます。

発着地

新山口駅(貸切バスで移動します)

視察先

うきは中山間地区農泊推進協議会(福岡県うきは市)

うきは市の中山間地域で5人のオーナーが集まり個性の異なる7つの一棟貸しの宿を展開。やまめの釣り堀、ジビエ加工工場や囲炉裏カフェなども連携し「風景に恋する山里ステイ」をコンセプトに、山里での滞在体験を提供しています。昨年には川遊びも楽しめる廃校を活用した宿もオープン。今後も複数の宿のオープンが計画されています。



WEBまたはFAXにてお申込みください

先着順

各回、定員に達し次第受付終了

令和8年度都市農山漁村交流促進セミナー」参加申込書

FAX 092-739-6081

★マークは記入必須項目です。

★お名前	ふりがな 氏 名	出席する講座を選択してください。			
★お電話 ※緊急時に連絡が取れる番号を ご記入ください。		① 第1回 11/9(月) 14:00～16:30	○ / ×		
年代	代	② 第2回 12/17(木) 14:00～16:30	○ / ×		
性別	○ 男性 ○ 女性 ○ 回答しない	③ 先進地視察 1/21(木) 8:30～18:30 (日帰り)	○ / ×		
★所属		居住地 市・町			
★メール ご案内メールを差し上げますので、メール アドレスのある方は必ず記入をお願いします。					
FAX		※開催日が近づいたら、当日のご案内をお送りします。			

同一所属から複数人ご参加の場合は、以下にご記入ください。

お名前／ふりがな	年 代	性 別	備 考 欄
ふりがな 氏 名	代	○ 男性 ○ 女性 ○ 回答しない	
ふりがな 氏 名	代	○ 男性 ○ 女性 ○ 回答しない	

※いただいた個人情報は、当事業の運営でのみ使用いたします。